カリキュラムマップ (2年次)

区分		4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	カリキュラム編成の考え方
教養	英語2	●	●	●		夏季休暇		学外就業体験						卒研発表	将来、海外の方と円滑にコミュニケーションできることをめざし、英会話に取り組みます。体力の維持増進と、体を動かすことによる心身のリフレッシュ効果を体得するため、通年で体育を実施します。
	保健体育2		●	●				●				●			
森林生態	樹木医学		●	●	●										健全な森林の育成に必要な知識や技術の修得のため、樹木医学、森林保護学、同実習を履修します。また、森林地質学、森林土壌学では地表からは見えない地質や土壌に対する見識を深めるため、講義とフィールドワークを組み合わせて履修し、森林の公益的機能の維持増進を図るために必要となる知識を修得します。
	森林土壌学										●				
	森林地質学								●						
	森林保護学	●	●	●											
	森林保護学　実習		●		●				●	●					
計画・土木	森林情報論　実習		●	●	●				●	●					1年次に修得した森林計測、測量、森林GIS、GNSS、ドローン、森林計画、作業道作設等の知識や技術を基礎とし、森林施業の集約化や森林ICTの推進、効率的で効果的な森林施業プラン立案や作業道の設計など実践的な実習を繰り返し行い、森林、林業の現場で生ずる課題に対して、自ら解決策を考え、実行できる力を身につけることを目指します。
	森林計画実習		●		●				●	●	●				
	森林施業ﾌﾟﾗﾝ作成1			●											
	森林施業ﾌﾟﾗﾝ作成2	●	●	●											
	作業道作設実習	●	●	●											
森林機械	林業機械学(技能講習等2)	●	●												1年次に取得したチェーンソー、刈払機、走行集材機械に加え、機械集材装置、簡易架線集材装置、伐木等機械の操作等に必要な資格の取得等により、林業の現場作業に求められる技能を身につけ、即戦力となる人材を養成します。また、素材生産総合実習では伐採、造材、集材、集積といった一連の作業を繰り返し実習し、取得した技能の定着を図ります。
	林業機械学　実習3		●												
	林業架線学2								●	●	●				
	林業架線学　実習								●						
	素材生産総合実習									●					
林産	木材加工学　実習	●	●	●			●								製材工場等の視察研修や木材加工実習を通じて、木材利用を推進するための課題や解決策を考えるほか、樹種ごとの木材の特徴や建築における木材の使われ方等に関する見識を深め、材料としての木材の可能性を探究します。
	木造建築･木材ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ			●	●				●	●					
経済	森林会計学										●	●	●		経営に必要な簿記や経理の基礎知識を身につけます。
環境	保健休養学2								●		●	●			1年次に学んだ森林生態、森林計画、林産、森林環境等の知識をベースに、里山保全の手法を体得する里山論や、森林療法などを学ぶ保健休養学2に取り組みます。また、1年次に履修した造園学の延長として、造園学実習に取り組みます。さらに、地域貢献する人材としてワイルドライフマネジメントへの積極的な参画を目指して、野生鳥獣被害対策実習にも取り組みます。
	造園学実習		●	●	●										
	野生鳥獣被害対策実習1	●	●						●	●		●			
	里山論	●										●			
実習	技術定着2				●		●			●					技術定着2は2年間で学んだ知識や技術の定着をはかるための補完的なカリキュラムを実施します。体験研修2ではイベントの企画運営への挑戦など、多自然地域で中心的な役割を果たせる、地域貢献できる人材の養成をはかります。
	体験研修2				●		●	●	●	●		●			
キャリア	特別活動2	●		●	●		●				●	●			キャリアデザイン、学外就業体験、特別講座2は、卒業後の就職先の選定や進学先の選定などイメージの具体化、就業後の職業人生の構想･設計、卒業研究を充実させるための分析･解析能力の向上のための支援を行うカリキュラムです。企業や森林組合などでの最長6週間に及ぶ学外就業体験を中軸に、前後に実施するキャリアデザイン、特別活動2と連動して、森林、林業、木材産業の担い手としてふさわしい実践的な能力を身につけ、実社会での適応力の向上を目指します。
	学外就業体験						●		●						
	キャリアデザイン	●		●	●										
海外研修(国内)				●	●										林業先進地で、様々な最新技術等を学び、森林経営に関する見聞を深めます。
卒研	卒業研究	●	●	●	●			学外就業体験	●	●	●	●	●	●	前半は講座に分かれ、講座ごとにテーマを決めて分担して研究に取り組む「プロジェクト研究」を行います。後半は各自で設定した課題について調査、研究に取り組み、論文にまとめることで森林、林業に対する高度な探求を行う技術を養成します。
選択	高度化コース					●									高度化コースは、最新の林業技術や高度なマネジメント手法などについて、社会人と合同で受講できる選択制のカリキュラムです。
	森林機能保全2					夏季休暇			●	●	●				森林機能保全2は治山技術、野生鳥獣被害対策実習2はわな免許取得等、木材利用教育は木材の活用法や、普及方法について幅広く学習、森林美学は森林の経済的価値と生態系との関わりや、自然の美醜について多角的に考察する選択プログラムです。 木材生産機械実習は、卒業直前に開講し、森林林業の現場で役に立つ伐倒練習機を使った伐倒作業の反復練習･不整地運搬･はい作業従事者の技能講習、製材工場や木材市場での就業に向けたフォークリフトの技能講習等を実施。技術定着3は、GIS、GNSSなどスマート林業に必要な技術を復習します。
	野生鳥獣被害対策実習2			●	●				●						
	技術定着3												●		
	木材利用教育											●	●		
	森林美学										●	●			
	木材生産機械実習												●		
	演習2	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	授業の予習、復習や、興味ある分野への探求などを行う自習時間として、OA室、図書室等を開放します。
その他	ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ･HR･その他行事	●			●						●			●	入学式、卒業式などの学校行事のほか、健康診断、各種研修、ホームルーム活動、進路とアリング等を計画的に実施します。